



挨拶雑感

7月に入り、北海道らしい気候となり、外を歩いていても朝夕は、とても清々しい気候となってまいりました。ここ数年日中の気温が上がる日が多くなってきていますので、この夏がどのような気温で推移するのか少々気がかりです。

また、今年は冬の降雪や春以降の降水量も少なく、ダム貯水量の減少が目立つところも出てきているようです。天気が良いばかりではなく、適度な雨も欲しいところです。

さて、最近弊社をご訪問いただいたお客様から、「技術サービスさんは挨拶がきちんできていて素晴らしいですね」というようなお言葉をいただくことができました。

ただ、私からすると、お客様に対する挨拶はもう少し元気よく行ってもらいたいし、出退勤時の社員同士の挨拶も、はっきり聞こえる声で行ってほしいと思うことも多いです。

元気よく挨拶している者も一定数おりますが、遠慮がちな人もまだまだ多いというのが実情です。

以前、とある複合機メーカーの札幌事務所をデモ機の見学で訪問した時の事ですが、入室すると事務所内の人が一斉に立ち上がり、「いらっしゃいませ」と言われたのに驚いたことがありました。とても明るく、元気のよい挨拶でした。社内でしっかりと指導がなされている会社はこうも違うものかと思った記憶があります。また、就職関連で高校や高専、大学を訪問の際においても生徒や学生が率先して挨拶をしてくれる学校も多いです。こちらも挨拶を返すわけですが、挨拶が良いとこちらの気持ちも晴れやかになります。

これらを鑑みると、弊社の挨拶の実施状況はまだまだこれからといったところです。ご来訪いただいた方々に少しでも良い気持ちや印象を持っていただけるよう、役職者が率先して挨拶を行い、それが配下のメンバーにも浸透し自然に挨拶が行うことができるような環境づくりを心掛けてまいります。

人と人をつなぐ最初のきっかけは挨拶だと思います。最初に良い印象を持つと、その後の進展も早くなると思います。逆に最初の印象があまり良くないと、その印象を引きずってしまい、良い関係を築くのに時間を要してしまうこともあるかもしれません。

お互いに気持ちよく仕事をするためには、まずは良い挨拶からだと思います。「今日は暑いですね」が挨拶の第一声になる日がこれから多くなると思います。気持ちよく挨拶を行い、相手を気遣い、安心安全に作業を行い、これからの暑い夏を無事故無災害で乗り切りましょう。どうぞご安全に。



代表取締役 向井 潔

シミュレーション(simulation)について

シミュレーションと呼んで何を連想しますでしょうか。身近な事では車の運転シミュレーターでしょうか。これに似た物としては飛行機や航空宇宙の飛行訓練などもあるようです。

弊社でも配電盤の総合試験に模擬送電線を活用してテストしており、これも立派な「simulator」です。これ等は物体=ハードウェアですが今回は別の面から simulate してみたいと思います。



取締役相談役 向井 隆

日常の仕事で

日常は特殊な仕事も有るが殆どの仕事は日々同じような事の繰り返しをしている事が多いのではないのでしょうか。勿論全く同じということも有るかも知れませんが、場合によっては一見違う作業に見えても実質的には同じ部分が大半ということもあります。

先輩の仕事を見て

学校での勉強も初めは見る事、聞く事、それをそのまま覚える事から始まります。職場でも初めは先輩から職場の決まり事から仕事（技術）や手順、注意事項などを教えられてやってみて出来るようになり、成長していくことでしょう。

先輩の仕事の仕方をシミュレーションして覚えるのが第一段階で、次はそれに基づいて自分ならこの様に改良する、創意工夫することが大切な事でしょう。

日々の出来事で

日々の職場での出来事もシミュレーションしてみると言葉遣いや対応の仕方でも得られることが多い事でしょう。

新聞やテレビのニュースを見ても、見て感じるだけでなく、もし自分がその立場であったらどのように対処、行動しようと常日頃から自分の日常とかけ離れた事であってもシミュレーションの対象として受け取り、同様な事態になったときに適切な対処が出来る訓練すなわち心の準備をしておくことが大切と思います。





2019年度安全大会



皆さんお疲れ様です。安全管理者の柿崎でございます。本社工場移転後、8回目となる安全大会を4月26日に弊社にて来賓1名、協力会社様10名、手話通訳3名、役員2名、社員69名、パート社員20名、計105名の参加で開催致しました。

安全大会に先立ち事務所神棚の前にて安全祈願参拝を実施致しました。

安全大会では、苫東コールセンター株式会社取締役事業部長 増田裕臣様より安全講話「5000日を振り

り返る」という演題で、コールセンター業務での運搬船や大型重機、冬の厳しい環境での海岸作業など常に危険が隣り合わせの状況での安全対策や教育訓練、事故や災害を発生させない取り組みなど大変貴重な講話を頂きました。また、いつも大変お世話になっております、北海道タツワ電気様、瀧澤電気工事様、北向電設工業様、山口電気様、啓亮すみれ電気様、東日本フィールドエンジニア様には大変お忙しい中、本大会にご参加いただきました事、この場をお借りして御礼申し上げます。増田様、協力会社の皆様、誠にありがとうございました。

本年度の弊社安全スローガンを『慣れた作業に危険の芽 初心を忘れず安全作業 つくろう 誇れる ESC』、災害減少目標を『慣れた作業も初心を忘れず、基本に戻って安全作業で、労働災害0を目指す。』、重点実施事項を『おたがいの 目配り、気配り、思いやりで誇れる ESCをつくろう。』とし、本大会で発表致しました。

安全スローガンは、本年3月に社内で募集しました安全標語を元に安全衛生委員会で決定させていただきました。安全スローガンの「初心を忘れず」は、誰しも初めての頃は慎重に行動しますが慣れた行動では、あまり考えて行動せず基本やルールより習慣での行動となりがちです。作業や行動を行う前に基本やルールを思い浮かべ、いつもと違う状況を確認し、自身であれば体調・感情・老化など、環境では天気・気温・湿度・明るさなど、その他周りの人・設備・機械・工具・期間・時期・納期・時間など様々です。

この状況の中に危険の芽が存在し、確認や注意を怠るなど複数要因が重なることで災害が発生することを忘れないでください。

また、心に余裕のないときは安全行動が行えないこともあり、周りの人に対しても寛容になれません。安全は心に余裕のある平常心で行動することが大事です。心に余裕のないときは無理をしないことが必要です。

本年度は、皆様の安全意識により「無事故無災害」を実施できるよう、安全スローガンの『慣れた作業に危険の芽 初心を忘れず安全作業』で『誇れる会社』となるよう、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、無事に安全大会を行えたことを参加者の皆様に御礼申し上げます。ご安全に！

安全管理者 柿崎 淳

ママチャリ耐久レースに参加しました！

5月のある日、新年度のご挨拶のため全道各地を社長の向井と移動していた時のこと。

【高橋】「モエレ沼でママチャリ耐久レースが開催されているのを知ってますか？」

【向井】「なんだか楽しそうだね」

そんな会話がきっかけで、6月23日(日)に初めて参加することとなりました。

メンバーは最近社内の若手を中心に活動しているフットサルのメンバーの他、今年の新入社員2名と向井と私の総勢10名となりました。

当日の朝は生憎の雨で、7時30分から受付とレースに使用するママチャリの車検のため少し早めの7時20分頃現地に到着しましたが、すでに車検コーナーでは長蛇の列が。

無事車検と開会式も終わり、9時45分には第一走者がスタートラインに待機し、いよいよ緊張の瞬間を迎えようとしているその時、なんとバニーガールの恰好をしたチームが現れ、会場内にいたほとんどの選手が目を奪われていました。おかげで大会会場のテンションは急上昇。各選手の緊張もほぐれた事でしょう。でも寒空の下彼女たちが風邪をひいていないことをただただ祈るばかりです。

いよいよスタートの号砲(実際には遠くから聞こえる笛の音?)と共にゆっくりとママチャリに乗った集団がパレード走行と称したウォーミングアップの後、そのままレーススタートです。

まずは小手調べ。1周3.5kmの特設コースを一人1周ずつ交代しながら全員が走行しました。しかし、最初はお祭り気分で参加したチームESCも他のチームに感化され、いつしか本気モードに。軽いアップダウンのある3.5kmのコースを全力でママチャリを漕ぎ、ライダーを交代すると力尽きて崩れ落ちる者や、あまりの疲労から天を仰いだまま眠りにつかんとするチームESC。しかし、普段から自転車に乗っている向井と、映画で有名なご存知「キャプテンアメリカ」のコスプレをしたチームメイトの一人がチームを鼓舞してくれたおかげで、なんとか4時間の耐久レースを完走することができました。

大会は空気抵抗万歳といわんばかりの仮装をしたチームや、必死でママチャリを漕いでベストタイムを記録し続けるチーム、そしてバニーガールへの声援が終始大会を盛り上げていました。

チームESCの結果は29周を走行し、205チーム中92位。初参戦にしては堂々の順位ではないでしょうか。

大会終了時には朝の雨が嘘のように晴れ上がり、出場したチームのメンバーもどこか清々しい表情であったように思います。

次回、もし参加できるならばまた即席チームを結成して是非参加したいと思います。

最後に、大会に参加した全てのメンバーと、我が家のママチャリに・・・お疲れ様。





社内周辺環境整備



5月8日に会社清掃活動の一環として、敷地内のゴミ拾いを行いました。当日は、8時から在社している社員で協力して社屋周辺のゴミを拾い集めました。

ゴミがたくさん落ちているわけではありませんが、それでも隠れるようにゴミは存在しておりました。

また、今年も会社入り口付近の花壇に新しい花の苗を植えました。色とりどりの花が咲いております。工場見学などでお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

総務課 福田 未幸



そうだ。FLUKE. を使おう。

弊社はフルーク特約店として長年フルーク製品を販売しております。

「デジタルマルチメーター 87V」や「赤外線サーモグラフィ Tiシリーズ」、これらの製品に付随するアクセサリをよく皆様にご購入いただいております。

製品によってはご購入検討時のデモ機の貸し出しも可能です。また、弊社よりご購入していただきましたお客様には、修理・校正も承っております。



デジタルマルチメーター87V

気になる製品やデモ機の貸し出し、校正などのご相談がございましたら、弊社の営業部員がご挨拶にお伺いした際やお電話、メールなどでいつでもご連絡ください。

皆様からのお問い合わせをお待ちしております。



サーモグラフィTi400

弊社のホームページトップにフルークのリンクがございますので、ぜひご覧下さい。

北海道電気技術サービス

検索



担当：営業部 藤根 香緒里

